

平成29年 第1回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成29年1月27日(金) 開始時刻 午後2時30分
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長, 大場委員, 伊藤委員, 山田委員, 清島委員
- 4 説明員 篠塚教育次長, 小堀学校教育担当次長, 梓澤教育企画課長, 増淵総務担当主幹, 神谷学校管理課長, 栗原学校教育課長, 大島学校健康課長, 大久保生涯学習課長, 伊藤中央図書館長, 松本文化課長, 阿部スポーツ振興課長, 小林教育センター所長
- 5 書記 大出課長補佐, 田上係長, 関総括, 大毛主事
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
議案第1号 宇都宮市就学援助費交付規則の一部改正
 - (2) 報告事項
報告第1号 平成28年12月議会一般質問の概要について
報告第2号 教育行政相談の内容と対応について
報告第3号 平成28年度小・中学校卒業式あいさつ文について
報告第4号 平成28年度全国学校給食週間の取組について
 - (3) その他
 - ① 平成29年宇都宮市成人式の実施結果について
 - ② 平成28年度第2回社会教育委員の会議の結果について
 - ③ 平成28年度宇都宮市民大学(後期講座)の実施状況について
 - ④ 上河内民俗資料館雛人形展について
 - ⑤ 平成28年度第1回宇都宮市スポーツ推進審議会の結果について
 - ⑥ 教育委員会だより第17号について

8 議事の内容

教育長

それでは、ただいまから平成29年第1回宇都宮市教育委員会を開会します。
会議録署名委員の指名 大場委員，伊藤委員

前回の教育委員会の会議録についてご意見などありますか。

(特になし，全員了承)

大場委員，清島委員に署名をお願いします。(会議録に署名)

教育長

それでは，本日の議事に入ります。

報告第2号及び報告第3号は，「個人情報が含まれているもの」及び「公開により実施目的が失われるもの」であるため，非公開としてよろしいでしょうか。

(全員賛成)

教育長

全員賛成ですので，これらにつきましては非公開といたします。

教育長

それでは，審議事項に入ります。

議案第1号 宇都宮市就学援助費交付規則の一部改正について説明願います。

学校管理課長

【説明要旨】

- 就学援助費の種類として新たに「入学準備金」を追加し，小学校第6学年の準要保護者のうち，市内公立中学校への入学予定者に対し，中学校入学前に援助費支給することができるようにする。

教育長

説明が終わりましたが，質疑などありますか。(特になし)

このとおり決定してよろしいか。(全員了承)

それでは，議案第1号を決定いたします。

教育長

次に，報告事項に入ります。

総務担当主幹

報告第1号 平成28年12月議会一般質問の概要について説明願います。

【説明要旨】

主な質問と答弁の概要

- 12月12日 熊本和夫議員

9 就学援助制度について

- ・ 経済的に困窮している家庭の更なる負担軽減に向けた取組が求められている中，今定例会において就学奨励費として補正予算が計上されているようであるが，今回，就学援助制度の充実にどのように取り組むのか伺う。

⇒ 新たに小学校6年生を対象とした「入学準備金」を設け，早期に実施するため，今議会に補正予算を計上し，来年3月の支給を予定している。今後，学校を通じて，小学校6年生の全ての保護者にパンフレットを配付するとともに，市のホームページや広報紙に掲載するなど，制度の周知徹底を図っていく。

- 12月12日 駒場昭夫議員
- 4 蒲生君平の顕彰について
- ・ 平成26年3月議会において質問に立った議員から、貴重な資料を収蔵し宇都宮の歴史を体系的に展示するなどの機能を併せ持つ市立博物館建設の提案があったが、博物館建設のあり方検討についての進捗状況と設立時期について見解を伺う。
- ⇒ 第2次文化振興基本計画の中で「歴史・文化等を活用したまちなか文化情報交流拠点づくりへの取組」を重点事業として位置づけている。現在、本市の歴史や文化財を改めて検証し、その情報発信や保存活用についての考え方を示す「歴史文化基本構想」の策定作業を進めており、今後は、その作業にあわせて、文化財の保存・管理だけでなく展示・活用のあり方や求められる機能、さらに本市ゆかりの人物等の周知啓発のあり方についても検討を進めていく。
- 12月12日 金沢力議員
- 5 子どもの家等事業について
- ・ 生活困窮世帯が子どもの家等を利用する際の保護者負担金に対して、支援が必要と考えるが見解を伺う。
- ⇒ 生活困窮世帯が、子育てと就労を両立し、生活を安定させるためには、子どもの家等の利用が必要不可欠であると認識していることから、経済的理由で子どもの家等の利用を控えることがないよう、保護者負担金への支援について検討していく。
- 12月13日 福田知恵議員
- 8 教育行政について
- ・ 不登校児童生徒数が増加傾向にあるが、この現象をどのように分析し、今後、どのような対策を図っていくのか、見解を伺う。
- ⇒ 平成27年度の小中学校を合わせた不登校の人数は前年度と比べ23人増加しているが、中学校における不登校生徒数は16人減少しており、小中一貫教育による取組の効果が表れていると受け止めている。一方、小学校における不登校児童数が増加しているのは、家庭も含めた環境の変化の影響が大きな要因となっているものと思われる。不登校児童生徒数の増加は、極めて重大な問題として深刻に受け止めており、校長会と対応策を協議するとともに、教育委員会内に不登校対策のための検討部会を設置し、より効果的な対策の検討を行い、組織一丸となって、不登校対策の強化を図っていく。
- 12月13日 舟本肇議員
- 4 教育行政について
- (3) 全国学力・学習状況調査の結果から見えてくるものと「教育力日本一を目指して」について
- ・ 全国学力・学習状況調査については、文科省は学力や学習状況を分析して成果や課題を発見し、教育施策に生かすとともに、学校で児童生徒に対する指導の充実や学習状況の改善に役立てることを狙いとしているが、今回の結

果に対する見解と、今後の目指すべき方向性・方針についての見解を伺う。

⇒ 今回の本市の結果については、平均正答率がほとんどの科目で全国平均を上回るとともに、中学3年生が小学6年生のときの正答率と比較すると国語の結果に大きな伸びが見られ、小中一貫教育・地域学校園における9年間を通じた指導や読書活動の推進による成果と受け止めている。一方で、基本的知識の定着が十分とは言えない状況であるため、基礎・基本の徹底のために作成したワークシートの活用促進を図るとともに、各学校の結果を分析した上で、状況に応じた実効性ある取組を指導主事が学校とともに検討し、学習指導の改善に一層努める。

○ 12月15日 増渕一基議員

10 英語教育の充実について

・ 国は英語教育の抜本的改革を進めており、小学校5・6年において教科化され、中学校では英語で授業を行うと聞いているが、小学校教員が教科として教えることに不安を持っているとも聞いている。子供たちがグローバル社会を生き抜くためには、外国人と実際に英語を使って話をするができる、生きた英語力を身に付けさせることが必要不可欠であると考えるが、本市英語教育の充実・強化に、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

⇒ 本市は、会話科でALTと英語でやりとりする活動を取り入れてきたところ、中学校の「学習内容定着度調査」における英語を聞くことに対する正答率が年々上昇するなどの効果が表れており、今後は、授業はもとより、あらゆる時間を活用し、ALTと触れ合い、会話する活動をこれまで以上に取り入れ、指導の充実を図っていく。また、中学校教員を対象とした1泊2日の「英語漬け研修」や、小学校英語の「教科化に向けた研修」を新たに実施しているところであり、平成29年度からは、地域学校園の中学校英語教員を指導者とした校内研修を推進するなど、教員の指導力向上に取り組んでいく。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員

不登校対策の答弁において、「教育委員会内に不登校対策のための検討委員会を設置し」とあるが、こういった組織は既に設置しているのではないか。

教育センター所長

これまで実施してきたものとは別に、現在、学力向上・不登校対策検討会議を設置し、動き出しているところである。また、その下部組織として個別のワーキンググループを設け、詳細な検討を実施している。

伊藤委員

教育センターが中心となって実施しているのか。

教育センター所長

ワーキンググループは学力向上と不登校に分かれていることから、不登校のものは教育センターが中心となって実施している。なお、上位の学力向上・不登校対策検討会議は、学校教育担当次長が座長となって実施しているものであり、特定の課が中心となって実施するものではない。

伊藤委員

そのワーキンググループには、スクールソーシャルワーカーが参加することも考えられるのか。

教育センター所長

現在のワーキンググループは、教育委員会事務局各課の係長級により構成されている。今後、必要に応じて校長会の代表に検討会議へ参加していただくなど、

伊藤委員 教育長	<p>柔軟に対応していきたいと考えている。今現在、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが直接参加していることはない。</p> <p>柔軟な対応をしていただき、ワーキンググループの充実を図っていただきたい。このとおり承認してよろしいか。(全員了承)</p> <p>それでは、報告第1号を承認いたします。</p>
教育長 学校健康課長	<p>報告第4号 平成28年度全国学校給食週間の取組について説明願います。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文部科学省が定めている全国学校給食週間（1月24日から1月30日）に合わせ、本市においては、「学校の食育に関するパネル展示」や「あなたのためのお弁当コンクール大賞作品のアレンジ弁当の販売」のほか、各学校において、給食の歴史や地域の郷土料理に触れることのできる献立の実施、給食委員の児童生徒による集会活動の実施など、学校給食への理解と関心を高める取組を行っている。 ○ また、JAグループ栃木による食育応援事業として、地元特産品であるいちごを全小学校に提供していただいた。
教育長 大場委員	<p>説明が終わりましたが、質疑などありますか。</p> <p>お弁当コンクールは例年の取組として定着してきていると感じるが、今回で何回目となるのか。</p>
学校健康課長 教育長	<p>食育フェアと同様に11回目となる。</p> <p>このとおり承認してよろしいか。(全員了承)</p> <p>それでは、報告第4号を承認いたします。</p>
教育長	<p>次は、「その他」の案件になります。</p>
生涯学習課長	<p>その他（1） 平成29年宇都宮市成人式の実施結果について説明願います。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年1月8日に、市内のホテル・結婚式場等8施設、25中学校区会場で実施した。 ○ 出席状況は、昨年度とほぼ同程度の73.4%であった。 ○ 本年初めての取組として、文星芸術大学との連携により、在籍する新成人がデザインした成人式プログラムを作成した。
教育長	<p>説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし)</p>
教育長	<p>その他（2）以降の案件については資料提供のみですので、後ほどご覧ください。</p>
教育長	<p>【公開できる案件の終了】</p> <p>これからの議案については非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いいたします。</p>

【非公開審議の開始】

報告第2号 教育行政相談の内容と対応について

⇒ 承認

報告第3号 平成28年度小・中学校卒業式あいさつ文について

⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長
清島委員

以上で議事は終了となりますが、委員の皆様から何かご意見などございますか。
その他（2）の社会教育委員の会議結果の主な意見の冒頭では、「補助金を交付する4団体」となっているが、文末では「この5団体」となっているが、どちらが正しいものであるのか。

生涯学習課長

生涯学習課が所管する団体が4団体、文化課が所管する団体が1団体の計5団体が補助金交付団体となることから、このような表記となっている。

教育長

その他何かございますか。（特になし）
それでは、事務局から連絡事項をお願いいたします。

事務局

連絡事項説明

- 教育施設視察（田原西小）の日程について
 - ・ 2月2日（木） 午前10時30分 市庁舎出発
※ その後、授業参観、意見交換を行う。
午後 2時30分 市庁舎着

- 2月定例会の日程について
 - ・ 2月16日（木） 午後 1時15分 定例会
午後 4時00分 教育施設視察（文化会館）

教育長

以上をもちまして、本日の委員会を閉会といたします。
終了時刻 午後3時15分

署名委員

署名委員
